

東京B地区会開催

平成24年3月26日、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、東京B地区会（代表幹事：竹田征郎、情報技術開発(株) 会長）が55名の参加を得て開催された。

冒頭、平成23・24年度の東京B地区会代表幹事に就任された竹田代表幹事から、JISAが取りまとめたサービス化へのシフトを始めとする構造改革に向けたアクションプランについて紹介した上で、業界各社がこれらを具体的な行動に落とし込み、収益性の高い業界として生き延びていくため真摯な努力が必要であること、さらに、日本の将来のためにもこの業界が日本の産業の黒子として頑張っていかなければならない旨の力強い挨拶があった。

引き続き経済産業省商務情報政策局情報処理振興課の堀江大地氏から、融合新産業の創出策を始めとする最近の情報政策の概要とともに、分厚い中間層を支えてきた製造業等の急速な縮小という産業構造の変化への対応が必要であること、ITの利活用による知識産業化とそれを担うIT産業の成長がこの変革の鍵を握ることになること等について説明があった。

次に、JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向（JISA基本統計2011、DI調査、特サビ動態統計等）の説明の後、JISA Awards2012の受賞者、CO2削減自主行動計画、電力需給対策、集团的消費者被害回復に係る訴訟制度、社会保障・税番号制度等最近のJISA活動及び業界を取り巻く諸課題への対応について報告があった。

続いて、日本アイ・ビー・エム最高顧問、経済同友会終身幹事の北城恪太郎氏による「経営のイノベーションと人材育成」のテーマでの講演が行われた。

北城氏の講演は「厳しい業界ということは、それだけチャンスがあるということである」とした上で、イノベーションによる発展の重要性、その担い手の発掘・育成などイノベーションを実現するための具体的な要件、経営者に求められる特性、リーダーへのアドバイス等、豊富な経験に裏打ちされた大変示唆に富んだ講話となり、引き続き行われた懇親会においても参加者との熱心な歓談が続き、盛会のうちに地区会を終了した。

（菊池）